

# Fusyo Collaboration letter



9月 9日 No.17 文責 廣田 秀俊

## 自分の命を守ること、友だちの命を大切にすること

8月8日大分県に起きた震度4の地震。8月29、30日に大分県に直撃した台風10号。自然災害は、いつ、どのような大きさを襲ってくるのか予想はつきません。8月に立て続けに起きた自然災害から、私たちは備えをしっかりとしていかななくてはならないと、強く感じています

附属小学校では、危機管理体制を強化するため、様々な対応策を行っています。教職員による防犯訓練や救急対応研修をはじめ、学校全体で高台避難訓練や熱中症予防対策の実施など、その都度成果や課題を確かめ、経験値を高めているところです。

災害対策として、すべての教室で、“休み時間に地震や火事がおきたときの身の守り方を考えよう”と言う題目で、意見を交わしている姿がありました。どんな行動を取ればいいのかをみんなで考えていました。「放送を静かに聞くこと」「何が起きたのか、何が起きているのかを知ること」「どうするのかを考え行動すること」「『おはしもち』を守ること」避難するときには、頭や身体を守るため、身体を小さく丸め肘や膝で頭から首の部分を守り隠す姿勢を取ることなど、具体的な項目も確認していきました。



9月5日(木)に、予告無し避難訓練を行いました。今回の訓練では、地震が発生し特別教室で火事が起きた時を想定しての避難でした。放送がながれ子どもたちの避難が始まります。地震がおさまるまでの間、身体を守るための姿勢を取り続けました。火災発生時の放送を受け、子どもたちが一斉にグラウンドへ避難していきました。

今回の訓練は、休み時間に実施しました。そのため、自分で考え行動することが大切でした。口をハンカチでおさえながら、必死にかけ続ける姿がありました。

教室での振り返りでは、訓練時の心境から確かめていきました。「パニックになった」「火事と聞いて焦った」「こわかったし不安だった」等、その声を聞き、避難の際の大事なことをみんなで確認していきました。放送をしっかりと聞くこと(耳)、どこに逃げればよいか考えること(頭)、落ち着いて行動すること(心)、この3つを日頃から心がけ、どんな時にも対応出来るようにしていくことを再認識していきました。

